

初等科芸術教育支援事業

カンボジアの子どもたちに音楽と美術の楽しさを!
JICA草の根技術協力事業がスタートしました。



2016年3月に採択されたJICA草の根技術協力事業は、8月26日付けでJICAと業務委託契約を締結し、正式な案件名を「初等科芸術教育支援事業」として活動をスタートさせました。近い将来、カンボジアのすべての子どもたちが学校で質の高い芸術教育を受けることができることをめざし、5年間の契約期間にJHPがカンボジアの教育省とともに行う活動は主に下記の4つです。



1. 小学校の芸術教育の普及に責任をもつ教育省の職員を育成する。
2. 小学校の芸術教科のシラバス、生徒用の教科書、教員用の指導書を作成する。
※1)
3. 州レベルのトレーナー(教員を指導する人)を育成するための教育省内のトレーナーを育成する。
4. レベルのトレーナーを育成するための研修プログラムを作成する。

※1)学習目標や指導内容、計画を詳細に示したものの。日本の「学習指導要領」や「指導計画案」にあたる。

2016.
7

アドバイザーとワーキンググループの結成



日本側では、音楽と美術の専門家8名とJHPスタッフ3名がアドバイザーグループ(以下、AG)を結成しました(表1)。またJICAとは契約交渉中であった7月6日の夕方、日本人専門家が初めてJHP事務所に集まり、AGのメンバーとして今後の活動について話し合いました。

(表1)

音楽

津田 正之	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官
井上 和夫	セントラルマーケティンググループ(タイ王国) ミュージック・ディレクター
高見 仁志	佛教大学 教育学部 教授(音楽教育・教師教育)
田中 健次	茨城大学 教育学部 教授

美術

岡田 京子	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官
辻 政博	帝京大学 教育学部初等教育学科 准教授
藤江 充	愛知教育大学 名誉教授
水島 尚喜	聖心女子大学 教授

JHPスタッフ

青木 一能	AGリーダー
矢加部 咲	プロジェクトマネージャー
長谷川 朋子	国内業務担当



プロジェクトの背景

カンボジアの音楽・美術教育は、教育課程の中で独立した科目でなく、「社会科」の一部として位置づけられており、指導に十分な時間数がありません。また、学校の経済状況や教員の技術・知識が十分でないことから授業が実施されていないケースもあります。授業を行っている数少ない学校においても、音楽の指導内容は歌詞の書き写しや伝統楽器の名称を覚えることなどに限られています。美術においても、指導内容のほとんどは臨画(模写)です。子どもたちが音楽や美術を通じた自己表現活動により、協調する力や表現力、豊かな感性と心の情操を育む機会は極めて少ないといわざるを得ません。

カンボジア側では、教育省から6名の職員と芸術文化省から2名の職員がワーキンググループ(以下、WG)を結成しました。WG結成会議では、今後の活動について積極的な話し合いが行われました。これらAGとWGのメンバーが今後5年間、協力して活動を進めて行くことになります。

2016. 8-10 シラバス作成

8月から9月にかけて、音楽、美術それぞれの専門家が週末を利用して集まり、2日間かけてカンボジアの状況をベースに各科目の学習内容の構成を考え、初等科シラバス案を作成しました。その後、各科目のシラバス案の完成をうけて、10月末に各科目の代表者がJHP事務所に集まり、プロジェクトマネージャー(以下PM)の矢加部とインターネットのスカイプでつなぎ、両科目のシラバス案を芸術教科としてひとつにまとめる作業を行いました。



2016. II- シラバス説明のためのワークショップ

11月以降、カンボジアでは矢加部PMを中心に、WGとともにAGが作成したシラバス案について協議するためのワークショップを数回にわたり開催しています。カンボジアでは、他教科のシラバスの改訂もカリキュラム編成局を主体として進められていますので、それらの動きに歩調を合わせながら活動を実施しています。



2017. I-3 専門家派遣

2017年1月29日から2月4日まで、音楽チームから田中健次先生と井上和夫先生をカンボジアに派遣しました。続いて3月12日から18日まで、美術チームから藤江充先生と辻政博先生を現地に派遣しました。現地では、カンボジア教育省の職員に対する講義やシラバスの説明、教員養成学校や小学校、王立芸術大学など芸術教育にかかわる機関の視察を行いました。

